

龍源寺報

令和8年（2026年）秋彼岸号

派 寺 心 妙 宗 濟 臨
樹 信 松 松 松 職 住
樹 覺 原 松 住 母 佛
樹 行 原 松 職 寺 正
TEL 03-3451-1853
FAX 03-3451-6094

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23（郵便番号 108-0073）

Email: info@ryugenji.com URL: <http://www.ryugenji.com>

（メールアドレスが復旧しました。）

秋彼岸会におもう

龍源寺住職 松原信樹

「二人は賑やか」という茨木のり子さん（一九二六～二〇〇六）の詩を紹介したい。

一人でいるのは 賑やかだ／賑やかな賑やかな森
だよ／夢がぱちぱち はせてくる／良からぬ思
いも 湧いてくる／エーデルワイスも 毒の茸も

一人でいるのは 賑やかだ／賑やかな賑やかな
海だよ／水平線もかたむいて／荒れに荒れつ
ちまう夜もある／なぎの日に生まれる馬鹿貝
もある

一人でいるのは賑やかだ／誓って負けおしみな
んかじゃない／一人でいるとき淋しいやつが／
二人寄つたら なお淋しい／おおぜい寄つたな
ら／だだだだだ だと 墮落だな

恋人よ／まだどこにいるのかもわからない 君
／一人でいるとき 一番賑やかなヤツで／あつ
てくれ

（二〇二二年一月二五日「毎日新聞」・余録）

他者と共にあるこの世の中で、孤独は決して淋しいものではない。この世の名誉や名声は、決してあてにならず、他者の身勝手な臆断に依存した評価にすぎないことも、孤独の中で見抜かれる。孤独については、恐らく、古来から、仏や神の存在といった問題意識のもとで思索されてきたことだろうとも思う。静かな中で、坐禅をし、作務（＝掃除）をする。もっと、早くからいろいろなことを見通すことができたなら、どんなによかっただろうと思うのが私たちの日常だろうが、希望を持たない人間というのは存在しない。さまざまなことがどうして起こるのか、その永遠の答えを私たちは、知り得ず、ただその偶然に飛散したものの間にさまよっている。きっと、どのような人でも、自分の生きがいをもっていて、それを大切にしたいと思う。死すべき自己を自覚すれば、自然のいのちの純真さへの感動が生まれる。そして、「生きる」とは、こういうことか、それならばもう一度」と、限られた時間の中で勇気をもって挑戦する。私は、決して孤立ではなく、孤独という、自分の世界をもち、それを大切にしたい。孤独を恐れず、一生に一度の出会いである一期一会を大切にし、気づかず去っていた縁にも思いを馳せたい。最後とは知らず最後が過ぎていくその連続とおもう子育て（俵万智・『未来のサイズ』）未熟者ですが、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

ご寄付

五万円

匿名殿

ありがとうございました

秋彼岸会

一、九月二十三日（水曜日・秋分の日）

午前十一時

一、法話

・駐車場はありません。

南北線をご利用ください。

至目黒

白金高輪
下車（2番出口）
徒歩約5分

明治通り
古川橋

地下鉄（南北線）

至麻布

龍源寺

龍源寺への交通の便（地下鉄）

● 南北線。白金高輪駅下車。徒歩五分。

2番出口から地上に出ると案内看板に「龍源寺」名あり。

〈都バス〉

● 田 87 渋谷駅―田町駅 魚籃坂^{ぎやらん}下下車

● 都 06 渋谷駅―新橋駅 古川橋^{きやうがはし}下車

● 品 97 品川駅―新宿駅西口 魚籃坂下^{ぎやらん}・古川橋下車

● 反 96 五反田駅―品川駅―六本木ヒルズ（循環）

魚籃坂下^{ぎやらん}・古川橋下車

〈東急バス〉

● 東 98 東京駅南口―等々力操車場 魚籃坂下^{ぎやらん}下車

ごあいさつ

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

龍源寺は、前身である「龍翔院」の建立から、三五〇年という節目を終え、新たな一步を踏み出しています。禅の布教活動を実践し、毎月一回開催される坐禅会も、今月で五六六回となりました。延べ二万人近い方々が、龍源寺の本堂で坐禅をされていることに、心から感謝するとともに、今後の先行き不透明な時代の中で、希望をもって新たな世界を切り開くことのできる人財を育ててまいります。

中国・唐の時代に成立した禅の思想を現代の価値観に合わせリアルな言葉で再生すべく、葬儀・法要などの祖先祭祀はもちろんのこと、坐禅会、法話会、研修会をすすめています。そのため、先々代より、貸地を買収して「龍翔院」を観音堂として復興し、境内整備に力をいれてきました。最近では、貸地の買収はもちろんのこと、傾きかけていた古い書院の改修、

玄関、応接間の改修、本堂のエレベータ新設工事、バリアフリー工事、照明LED化工事、納骨堂建立、防災用の井戸の整備、外壁塗装改修工事、防犯カメラ設置工事などを実施してまいりました。檀信徒の皆さまにとっての安全で快適な環境の整備に努めております。更なる未来に向け、計画内容を見直しながら、有用な整備を続ける所存でございます。

皆様におかれましては、今後とも、物心両面にわたってお支え下さいますよう、心よりお願いを申し上げます。ご寄附のお願いにあたってのご挨拶とさせていただきます。ご支援をいただける個人・団体・法人の皆様にあらためてご協力を賜りたくお願い申し上げます。

二〇二六年秋彼岸会

龍源寺住職 松原 信樹 九拝



Instagram を始めました。アカウントは [ryugenji.zen](https://www.instagram.com/ryugenji.zen) です。お寺の行事や工事の状況などを配信していきます。



柳 緑

花 紅

秋彼岸会を迎えます。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。お盆の法要の出頭、

法話を終え、七月の末に、幼稚園の年中さん、年長さ

んの合宿を二泊三日で、北軽井沢日月庵坐禅堂で行いました。スタッフを合わせると総勢五五名の合宿となりました。北軽井沢の地元の方々に助けられ、また、天候にも恵まれ、大変有意義な会となりました。母は妻の亜矢さんとお手伝い下さった三名の方と共に、全員のお食事作り、娘の瑞樹は、お姉さん役として、がんばりました。主催する会の方も、スタッフをお掃除の段階から、ボランティアでお手伝いいただき、大変助かりました。このような形で、今後とも、日月庵での研修を続けていきたいと思えます。ちなみに、研修最終日の七月二十九日は、松原泰道和尚と育ての母である、よねさんの命日でもありました。帰山後、墓前に、ご報告させていただきます。▼今年は、先代住職・松原哲明和尚の十七回忌に

あたります。十二月一日の開山忌という、初代住職の毎年の法要の折に、近隣の和尚様とお経を読ませていただきます。墓地も龍源寺境内に移動し、安堵の気持ちでいっぱいです。▼納骨堂の水月堂を内覧ご希望の方は、お問い合わせください。私自身も、お墓の改葬を経験しましたので、お力になれると思います。もちろん、広尾・東北寺の墓地も若干ですがございます。納骨堂の内覧は、彼岸会などの行事の折もよろしいですが、皆さまご存じのとおり、寺族で運営しているため、なかなかご対応が難しく、できれば行事でない別日にお願ひできたらと思います。秋の涼しくなった頃、いかがでしょう。▼母は元気に毎日を過ごしています。八月は、茶道のお稽古をお休みにして、娘の宿題と一緒にしたり、本を読んだり、来日していたアメリカにいる姪っ子などと楽しく話したりしていました。亜矢さんは、お寺と会社の仕事と娘のことで忙しくしています。仕事は、十割勤務に戻りました。何か仕

事でトラブルがあると、帰宅が遅くなるため、なかなか約束が叶わないのが実情です。瑞樹は、元気にしています。先日、家内が、夏休みの宿題のための工場見学に抽選で当選したものの、本人は仕事で行くことができず、娘と私と二人で、横浜市磯子にあるオイル工場の見学にいきました。工場見学の中で他のグループは、全員、ご両親とお子さんでしたが、娘と二人で、自分がまさか、こんな場所にいるなんて思いながらも、天から与えられた時間だと思い、夏休みの工場見学を楽しませていただきました。私自身の記憶の中で、小学校四年生の夏休みは、今まで生きた時間の中で一番楽しかったかもしれせん。▼九月二三日（秋分の日）午前一一時より、秋彼岸会を行います。「秋分の日」は「祖先をうやまい、亡くなった人々をしのぶ」とされています。皆さま、どうぞご家族でお参りください。寺族一同お待ち申し上げます。

（信樹）